

授業概要

保育内容総論は、各論としてとらえられる保育内容を総合的に把握して理解するものである。子どもの育ちを支える保育者として求められる知識と保育技術、その他保育内容にかかわることを総合的に学び身につけるように指導する。幼稚園教育要領に基づき、「環境を通して行う教育」「遊びを通しての指導」等を踏まえた指導方法と5領域のねらい及び内容の関連について実践的に学ぶことを指導する。

授業計画

第 1 回	保育内容総論のオリエンテーション
第 2 回	保育の基本と保育内容
第 3 回	保育の特質:保育教材から考える、教材制作
第 4 回	遊びによる総合的な保育
第 5 回	幼児の発達と生活
第 6 回	環境と保育内容
第 7 回	幼児理解と保育内容
第 8 回	保育内容と保育・教育課程
第 9 回	保育内容と保育の展開
第10回	保育の評価と記録
第11回	保育者の役割
第12回	保育者の支援と配慮
第13回	保育の実践的理解①:保育教材を通じた保育実践の発表
第14回	保育の実践的理解②:保育教材を使用した実技発表
第15回	まとめ 保育内容における現状と課題
第16回	定期試験

到達目標

保育内容の方法における特質を理解し、各領域(5領域)におけるねらい及び内容の関連を理解する。
子どもの発達を見通した保育の展開を目指し、子どもの実態に即した指導計画の作成に基づいた保育実践を行うことを理解する。

履修上の注意

幼稚園教諭免許取得に必要な科目であるため、教員免許取得の意識をもって臨むこと。

予習・復習

予習としては幼稚園教育要領、授業箇所のテキストを読む。
復習は授業を振り返り、教科書を読み重要事項をまとめる。

評価方法

受講態度 10%、発表 40%、学期末定期試験 50%

テキスト

- ・教科書名：子どもと保育－保育内容(人間関係、言葉、環境、健康、表現)の理解を目指して－
- ・著 者 名：五十嵐淳子、木戸直美
- ・出版社名：大学図書出版
- ・出 版 年 (ISBN)：2022 年